

安全データシート  
製品名: 次亜塩素酸 Na フォーム

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：一般名：次亜塩素酸ナトリウム

会社名：丸石製薬株式会社

住所：〒538-0042 大阪市鶴見区今津中 2 丁目 4 番 2 号（担当：学術情報部）

電話番号：0120-014-561

FAX 番号：06-6965-0900

緊急連絡電話番号：06-6964-3108

ホームページアドレス：<https://www.maruishi-pharm.co.jp/>

推奨用途及び使用上の制限：医療施設等の環境表面・器具・物品（トイレの手すりや便座、床等）の除菌・洗淨

## 2. 危険有害性の要約

分類実施日 2024 年 1 月 11 日（GHS 混合物分類判定ラベル作成システム（NITE-Gmiccs）を使用）

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
	エアゾール	区分に該当しない（分類対象外）
	酸化性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
	高压ガス	区分に該当しない（分類対象外）
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない（分類対象外）
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない（分類対象外）
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない（分類対象外）
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない

	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（呼吸器）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分2
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素  
絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
呼吸器の障害のおそれ  
水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

- 【安全対策】(1)～(15)は製品ラベル【使用上の注意】を参照のこと。
- (1) 用途以外に使用しないこと。
  - (2) 使用時に必ず保護メガネ、ゴム手袋等を着用し、換気のよい場所で使用すること。
  - (3) 1度に大量に使用したり、続けて長時間使用しないこと。
  - (4) 酸性の洗浄・漂白剤、アルコール製剤、シアヌール酸系の製品等と混合（併用）すると有害な塩素ガスが発生して危険なので避けること。
  - (5) 人体には使用しないこと。
  - (6) 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
  - (7) 肩より高い位置で使用しないこと。
  - (8) ワックスを塗布した床面には、ワックスがはがれるので使用しないこと。
  - (9) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、金属製品等、材質によっては変質（変色）するおそれがあるので注意すること。
  - (10) 衣類、敷物、家具等につくと脱色（変色）することがあるので、注意すること。
  - (11) 医療機器に使用した場合、故障の原因になることがあるので注意すること。
  - (12) 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
  - (13) 他の容器に入れ替えないこと。また、他の洗剤や除菌洗浄剤を入れないこと。
  - (14) 小児の手の届かないところに保管すること。
  - (15) 使用期限の過ぎた製品は使用しないこと。
- 【応急処置】(1)～(5)は製品ラベル【応急処置】を参照のこと
- (1) 目に入った場合は、失明のおそれがあるので、こすらずに直ちに流水で15分以上洗い流し、痛みや異常がなくても速やかに必ず眼科医の診療を受けること。
  - (2) 万一、有害な塩素ガスを吸い込んだ場合は、直ちに患者を風通しのよい場所に避難させ、速やかに診療を受けること。手当が遅れると生命にかかわるおそれがあります。
  - (3) 飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ、多量の水、牛乳や生卵等を飲ませ、無理に吐かせずに、速やかに医師の診療を受けること。
  - (4) 皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で十分に洗い流すこと。手当が遅れると炎症を起こすことがあります。異常が残る場合は、皮膚科医の診療を受けること。
  - (5) 使用中、目にしみたり、せき込んだり、気分が悪くなった時は使用をやめてその場から離れ、手洗い・洗眼・うがい等を行うこと。
- （万一、身体に異常が起きた場合は、本品を持参し医師に相談すること）

【保管】

- ・直射日光の当たらない涼しい所に保管すること
- ・酸性の洗浄・漂白剤、アルコール製剤、シアヌール酸系の製品等と混合（併用）すると有害な塩素ガスが発生して危険なので、避けること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。

### 【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	分子量	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
次亜塩素酸ナトリウム	0.1~0.5%	NaClO	74.44	7681-52-9	化審法官報整理番号 (1-237)
水酸化ナトリウム	1.0%	NaOH	40.00	1310-73-2	化審法官報整理番号 (1-410)
アルキルジフェニルエーテル ジスルホン酸ナトリウム	非開示	C <sub>24</sub> H <sub>33</sub> O <sub>7</sub> S <sub>2</sub> .Na	-	119345-04-9	
水	非開示	H <sub>2</sub> O	18.00	7732-18-5	
安定化剤	非開示	非開示	-		

## 4. 応急措置

吸入した場合：万一、有害な塩素ガスを吸い込んだ場合は、直ちに患者を風通しのよい場所に避難させ、速やかに診療を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに多量の水で十分に洗い流すこと。手当が遅れると炎症を起こすことがあります。異常が残る場合は、皮膚科医の診療を受けること。

眼に入った場合：失明するおそれがあるので、こすらずに直ちに流水で 15 分以上洗い流し、痛みや異常がなくても速やかに眼科医の診療を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに口をすすぎ、多量の水、牛乳や生卵等を飲ませ、無理に吐かせずに、速やかに医師の診療を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：データなし

応急措置をする者の保護：データなし。

医師に対する特別な注意事項：データなし。

## 5. 火災時の措置

消火剤：大量の水

使ってはならない消火剤：酸との接触により有害な塩素ガスを発生するので、炭酸ガス、酸性の粉末消火剤は避ける。

特有の危険有害性：データなし

特有の消火方法：大量の水噴霧を行う

消火を行う者の保護：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：関係者以外の立入りを禁止する。

保護具及び緊急措置：

- ・腐食性が強いので、適当な保護具を必ず着用する。
- ・高濃度の蒸気にさらされないように保護眼鏡、防毒マスク、ホースマスク

等適当な保護具を必ず着用する。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

- ・少量の場合には、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。

の方法・機材

- ・大量の場合には、漏出液を密閉式の空容器に出来るだけ回収し、回収できなかった場所を大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策：排水溝・下水溝・地下室または封鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策：

『8. 曝露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用し、飛沫等が目、皮膚や衣類に付着しないように慎重に取り扱う。

局所排気・全体換気：

『8. 曝露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項：

- ・特有の臭気を有しているため、使用時は換気を良くする。
- ・体調の悪いときは取り扱わない。
- ・用途以外には使用しない。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
- ・金属類、他の薬剤、洗浄剤などの混入は絶対に避ける。
- ・作業中に温度が上昇したり、重金属類（コバルト、ニッケル、クロム、銅、鉄等）の混入があると分解し、酸素ガスを発生する。
- ・飛散した液やミストを吸い込んだり、目に入らないように注意する。
- ・誤飲等事故を防止する為、飲料用の容器を含む他の容器に移し替えたり、小分けしたりしない。
- ・酸と接触したり、pHが低下すると有害な塩素ガスの発生が起きるので注意が必要である。
- ・取扱い後は、よく手洗い・うがいを行うこと。

接触回避：データなし

保管：

技術的対策：消防法の規制に従う。

混触危険物質：データなし

保管条件：データなし

安全な容器包装材料：データなし

---

## 8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

設備対策：ミストや蒸気が滞留しないように局所換気装置または全体換気装置を設置する。取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。

保護具：

呼吸用保護具：適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具：適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具：適切な眼の保護具を着用すること。保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用すること。

衛生対策：取扱い後はよく手を洗うこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

形状 液体

色 無色～黄褐色澄明

臭い わずかに特異なにおい

pH 13～14

比重 d20/20 約1.02

溶解度 水に易溶

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性：データなし

化学的安定性：未開封で3年

危険有害反応可能性：酸と接触すると塩素ガスが発生する。

避けるべき条件：酸との接触を避ける。

混触危険物質：データなし

危険有害な分解生成物：塩素ガス

---

## 11. 有害性情報（製品として）

急性毒性

経口：分類できない

経皮：分類できない

吸入：気体区分に該当しなし

吸入：

蒸気：データ不足のため分類でない

粉じん、ミスト：分類できない

皮膚腐食性及び刺激性：分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：分類できない

呼吸器感作性：分類できない

皮膚感作性：区分に該当しない

生殖細胞変異原性：区分に該当しない

発がん性：区分に該当しない

生殖毒性・授乳影響：分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分3

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：分類できない

誤えん有害性：分類できない。

---

## 1 2. 環境影響情報（製品として）

生態毒性

水生環境有害性（急性）：区分1

水生環境有害性（慢性）：区分2

オゾン層への有害性：分類できない

---

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

汚染容器及び包装

関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 1 4. 輸送上の注意

国際規制

UN No. 1791

Proper Shipping Name HYPOCHLORITE SOLUTION

Class 8

Packing Group III

国内規制

陸上規制情報 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

国連番号 1791

品名 次亜塩素酸塩（水溶液）

国連危険有害性クラス 8

容器等級 III

海洋汚染物質 非該当

航空規制情報 航空法の規定に従う。

国連番号 1791

品名 次亜塩素酸塩（水溶液）

国連危険有害性クラス 8

容器等級 III

特別安全対策 移送時にイエローカードの保持が必要。  
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号 154

---

## 1 5. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法 法別表第9の319 ラベル表示・SDS交付義務対象物質(水酸化ナトリウム)

施行令別表第1第3号 危険物 酸化性の物(次亜塩素酸ナトリウム)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 該当しない

毒物及び劇物取締法	該当しない
水質汚濁防止法	政令第3条の3第6号 指定物質(水酸化ナトリウム) 政令第3条の3第11号 指定物質(次亜塩素酸ナトリウム)
船舶安全法	危険物船舶運送及び貯蔵規則 第2、3条危険物告示別表第1 腐食性物質 第2、3条危険物告示別表第1 腐食性物質
港則法	規則第12条危険物告示別表2号ホ
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	政令別表第1 有害液体物質Y類物質
航空法	施行規則第194条告示別表第1 腐食性物質

---

## 16. その他の情報

【参考文献】 各データ毎に記載した。

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、新しい知見および試験等により改正されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象にしたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上でお取り扱い願います。